

【資料 1】

「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」（素案）について

1 策定の必要性

- 「宇都宮市上下水道基本計画」の計画期間前期が平成24年度に終了することから、上下水道事業を取り巻く社会経済環境の変化や、これまでの施策の達成状況等を踏まえた中間見直しを実施し、平成25年度から29年度を計画期間とする「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」を策定する。

2 計画の位置づけ

- 「第5次宇都宮市総合計画」における個別計画
- 国の「水道ビジョン」（厚生労働省）及び「下水道ビジョン2100」（国土交通省）の地域ビジョンとしての性格を持つ計画

3 計画期間

- 平成25（2013）年度から平成29（2017）年度までの5年間

4 策定経過

平成23年11月	上下水道事業懇話会の設置（委員10人，計3回）
平成24年 5月	上下水道基本計画改定計画策定担当者会議の設置（計6回）
7月	マーケティング調査の実施
8月	局連絡調整会議・経営会議 骨子案付議・了承
平成25年 1月	素案作成

5 計画（素案）の内容・特徴

（1）内容

- 「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」（素案）の概要 **別紙1**
- 「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」（素案） **別紙2**

（2）特徴

「第5次宇都宮市総合計画改定基本計画（後期基本計画）」の分野別計画の策定と連動しながら、施策の達成状況や上下水道事業懇話会等における外部意見、さらにはお客様に対するマーケティング調査の結果などを踏まえ、計画を策定した。

ア 「水道水の安心給水の推進」「下水の適正処理の推進」について

- ・ 上下水道事業の「維持管理の時代」への移行などを踏まえ、施設等の改築・更新を引き続き計画的に実施するとともに、施設等の点検・修繕，さらには漏水・不明水対策などの取組についても計画的に実施していく位置づけとした。

イ 「危機管理の強化」について

- ・ 基幹施設の耐震診断が完了したことを踏まえ，松田新田浄水場等の耐震化工事に着手するなど，施設等の耐震化の取組をさらに進めていく内容とした。また，監視警戒設備や水質監視設備の拡充など，水道水の安全対策を強化した。

⇒ 新たな危機事案等への対応の必要性を考慮し，現行計画の基本事業を基本施策に格上げするなど，内容の充実を図った。

ウ 「環境負荷低減の推進」について

- ・ 再生可能エネルギーの有効活用を引き続き推進するとともに，上下水道資源の有効活用の新たな取組として，汚泥消化ガス発電の導入検討などを盛り込んだ。

エ 「お客様サービスの充実」「信頼経営の推進」について

- ・ 広報広聴活動の充実などに引き続き取り組むものとした。また，平成29年度に企業債残高（上下水道合計）を1,000億円以下とすることを指標に設定するとともに，技術継承の推進や水道事業アセットマネジメントなどの取組を着実に進めていく内容とした。

6 今後のスケジュール

平成25年2月14日	パブリックコメントの実施	(～3月8日)
3月 中旬	経営会議	
下旬	上下水道事業懇話会	
	計画公表	